

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2022年3月30日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

医療・福祉の改善！冬季五輪招致問題、新型コロナ対策で
札幌市へ要請 年金者組合や民医連道央3法人

補聴器購入助成・除排雪の抜本的改善、冬季五輪招致を一方的に進めないで！
年金者組合札幌支部協議会

3月29日、年金者組合札幌支部協議会は、札幌市長に、年金・福祉・除排雪などの再要望書(昨年12月の要望書に対する札幌市の回答を受けて)や2030年の冬季五輪誘致を一方的に進めないほしいなどの要望書を提出しました。

要望内容は、①国民年金の滞納処分をしないこと、②国保では年金生活者の恒常的低所得者にも一部負担金減免を認めること、③65歳以上も18歳未満と同様に資格証明書の対象にしないこと、④後期高齢者医療の2割負担実施中止を国へ要請すること、⑤補聴器購入助成の実施、⑥敬老パスではタクシー利用も選択肢に入れること、⑦雪を多く残すような方式をやめ除排雪の抜本的な改善を、などです。

また、2030年の冬季五輪招致については、少数の意向調査で決めず、多数の市民・道民の意見が反映される大規模な意向調査をすること、調査の結果意見が拮抗する場合には招致をやめること、現在のようなマスコミや市の広報を使った一方的な招致キャンペーンはやめることなどを要望しました。



新型コロナ禍 介護事業所の減収分を補填してください

道民医連道央3法人



3月30日、協立いつくしみの会・勤医協福祉会・北海道勤医協は、札幌市に対して、「介護事業所に対する減収補填に対する緊急要望書」を提出し、懇談しました。

新型コロナウイルス感染症の第6波の爆発的な感染拡大の下、介護事業所の経営や職員、利用者の健康が脅かされています。要請内容は、新型コロナ禍の減収分の補填、PCR検査の改善などです。

感染拡大の下で生じている利用控えや陽性者発症時の休業等に伴い減収が生じています。参加者から、「減収で存続できない状態です」、「すでに廃止している事業所も増えています。廃止されると制度を利用できない方も生じます」と深刻な経営実態を告発しました。

また、「基礎疾患を有する高齢者への感染は命に直結し、早急な対応が求められます。他の自治体では、新型コロナ緊急地方創生交付金等を活用して補填しているところもあります。札幌市でも交付金や介護保険財政を活用して減収分を補填してください」と訴えました。

4月には、北海道民医連が、北海道に対して、新型コロナウイルス対策についての要望書を提出する予定です。

4. 1 怒りの街頭宣伝

日時 2022年4月1日(金)
12時15分から45分
場所 大通西3丁目
各分野の代表がスピーチします。



消費税廃止道各界連・道北海道社保協などよびかけ